

人権教育研究テーマシート

担当（分掌、学年部、教科等） <p style="text-align: center;">地歴・公民科</p>	実施時期 <p style="text-align: center;">平成 28 年 7 月 14 日（木）の授業</p>
テーマ <p style="text-align: center;">基本的人権の尊重（１年生『現代社会』単元「日本国憲法・基本的人権の尊重」） 静岡県立大学４年生の土肥潤也氏（NPO 法人「わかもののまち静岡」代表） をゲストティーチャーに招いて、「主権者教育」の特別授業をしてもらった。</p>	
「静岡県が目指す基本的な方向性」との対応 （対応する番号に を記載する。複数選択可） 参照：静岡県教育委員会「様々な人権問題と人権学習」	人権に対する正しい理解を深めること 人権感覚を高めること 自尊感情を育てること
内容 <p>講師が自己紹介後、主権者について説明した。子どもの権利条約の意見表明権についてふれ、ドイツの学校会議（学校民主主義）についても紹介した。</p> <p>グループワークで始めに「あなたの学校の中での気になること（課題）は」について話し合う。さらに「より良い学校をつくるために」のテーマで、課題を受けてその解決方法を様々な立場から考え、話し合った。</p>	
実施後振り返って <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の様子・感想・変化など <p>「どうやったらエアコンがつくのか」「自販機の台数が少ない、他社のももっとほしい」「どうやったら学校の設備が充実するのか」「どうやったら服装のチェックが変わるのか」「体育の授業を減らしてほしい」など意見は多岐にわたって出た。「高校生にも人権を」といった声もあがり、猛暑の中の授業だったが、話し合いは熱く盛り上がった。</p> <p>事後の感想には「状況はすぐには変わらないと思う。けど、これだけ意見を言えてスッキリした」というものもあった。</p> ・実施した教員の感想・意見 <p>「自分たちも主権者である」「社会や学校の状況は自分たちの手で変えられる」ということを実感してほしかった。要求がすぐに実現するわけではないので、実感はまだ乏しいだろう。しかし、土肥さんという大学生（若者）のリードで生徒たちが自ら考え意見を出し合う・集約するといった授業ができたことに意義を感じた。</p> 	